令和 7 年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日時：　令和 8 年 1 月 28 日（水） 15:00～16:00

場所：　校長室

出席者：　平野会長、丹家委員、西村委員、妹尾委員、福武委員

事務局：　田中校長、 西岡事務長、 吉道教頭、 小磯首席、 上坂首席

1. 開会および校長挨拶

協議会は定刻通り開会。校長より、三年生が学年末考査に臨んでおり卒業に向けた最後の期間を迎えていること、また今年度の学校全体の落ち着いた雰囲気について報告があった。新入生を迎えた一年を振り返り、教職員の協力により学校運営が計画通り円滑に進んでいることへの感謝が述べられた。

2. 委員および事務局の紹介

会長・委員・PTA 代表・学校事務局（校長、事務長、教頭、首席）が紹介され、協議会の構成が確認された。

3. 会長挨拶

平野会長より、近年の高校無償化など教育環境の変化を踏まえ、公立高校が地域に根ざし信頼されることの重要性が指摘された。阿武野高校が授業改善・進路指導などで成果を挙げている点が評価され、地域から安心して紹介できる学校であるとのエピソードも共有された。

4. 令和 7 年度 学校経営計画の達成状況（詳細報告）

授業改善では『わかる・できる・学び合える』授業を軸とし、スモールステップの導入で生徒の達成感を高める取り組みが進展。授業アンケート数値は興味関心 86%、知識技能定着 86.5%と昨年度を上回った。ICT 活用では Classroom による課題配信・連絡が定着し、生徒の主体的学習にも活かされている。

校内研修では支援が必要な生徒へのアプローチをテーマに授業研究を実施し、教員間の共有が深まった。

国際交流では台湾・永春高校とのオンライン交流が実施され、姉妹校ケントレイク高校へは 3 月には 4 名の生徒が現地訪問予定。

生活面では私語の減少や清掃の質向上が見られ、学習環境が改善した。

専門コースではスポーツ・福祉・保育コースの特色ある活動が継続され、スポーツ専門コースではマス釣り等の体験授業にも取り組んでいる。福祉・保育専門コースでは外部講師との連携も強化している。

地域連携では、「地域で学ぶ機会がある」という項目で90・4%が評価すると回答。「あぶねっと」や「クリーンキャンペーン」の取組も充実している。

安全面では遅刻数増加が課題だが、登校意欲向上の面も確認された。

『あぶりすのおうちカフェ』の開始により、生徒の安心できる居場所づくりが進展。

広報活動では Instagram 活用が進み、地域・中学校への発信が強化された。働き方改革ではペーパーレス会議や欠席連絡デジタル化、teams での業務連絡など業務効率化が進んだが、時間外勤務の縮減が今後の重点課題となる。ストレスチェックの結果は指数 79 で教育庁全体 98 に比べて良い結果。

5. 令和7年度学校経営計画の達成状況について委員からの質疑・意見交換

① 学校教育自己診断の結果について

- 令和元年から振り返ってみると、学校教育自己診断の各指標は全体として少しずつ改善してきており、生徒の態度や取り組みも向上していることが確認できた。生徒が学校の取組に対してしっかり応えている姿が数値に表れており、学校としての努力が一定反映されていると感じられた。
- 一方で、最も肯定率が低い項目として「家庭での学習」が挙げられ、これは過去から大きく改善されていない傾向がある。宿題や家庭学習の課題の出し方、または自学自習を促す仕掛けが各教科でどうなっているのか、今一度見直す必要を感じている。主体的に学ぶ力を育てるためにも、ここが今後の改善ポイントではないかと思われる。
- また、保護者と教職員の認識の違いが見られる項目は特に注意すべきで、単年度の変化を見るだけでなく「捉え方の差」そのものを丁寧に毎年確認していくことの大切さが指摘された。

② 地域との関わり・イベントの重要性

- 地域の立場から見ても、学校行事や地域イベントは「生徒・教職員・地域・保護者」が一緒に楽しめるものであることが大切だと考えており、実際に小学校の放課後子ども教室などでは活発な取組が行われている。
- 地域との取組が地域の人の協力のもとに実施され、保護者からも「参加できて楽しい」「自分も初めての経験だった」という前向きな声が上がっている。地域の自然資源（竹・山など）も豊かで、こうした体験活動は生徒の関係づくりや学校への信頼にもつながる。地域としても、学校と協働しながら「子どもたちの未来につながる体験」の場づくりに関わっていきたいという意欲が示された。

③ 計画づくり・データの見方に関する指摘

- 学校の計画書は抽象的になりやすいという違いを感じつつ、今回の学校データを見る中でいくつか気になるポイントがあったとのこと。

  とくに注目したのは以下の点：
  - **教職員の「校長のリーダーシップ」評価が 100%で、過去最高**
  - **学校内人事に関する肯定も 91%と大幅に上昇**
  - **生徒の評価項目も過去最高（40%台 → 70%台へ大きく向上）**
  - **保護者の評価も、学校の説明・意思疎通の項目などが大幅に肯定へ変化している。**

  これらの結果を教職員がどのように感じているのかをぜひ知りたい、という関心が示されている。

6. 令和 8 年度 学校経営計画（案）承認

来年度の目標として『主体性育成』『キャリア教育の体系化』『規範意識・人権意識向上』『労働安全衛生体制の強化』が示され、委員より了承された。特に時間外労働の抑制は国から強く求められており、次年度は年間 720 時間超ゼロを目標とする。

7. 学校教育自己診断の結果

生徒回答では『学校が楽しい』(84%)j『相談しやすい』(74.8%)など肯定的回答が上昇。授業への満足度は高水準（82.9%）.提出物、自宅学習時間の確保には課題がある。

保護者回答では学校行事への評価が向上（88.6%）。学校からの情報提供については微増（77.7%）。生徒指導への理解は、70%と昨年より微減。理解、納得のいく生徒指導の在り方を模索していく必要がある。

教職員回答では、授業規の項目が 75%で増加、若手教員へのフォロー体制改善が高く評価された。また、清掃活動が9pt 増となり、校内清掃の意識が向上している。

8. 授業アンケート結果（12 月実施）

全体平均は 3.48 と向上し、三年生の満足度が最も高かった。生徒の授業参加への意欲は高い数値であるが、身についている実感については低い傾向。理解の定着にはさらなる工夫が必要とされ、振り返り活動の強化が提案された。

9. 校内居場所カフェ（あぶりすのおうちカフェ）報告

9 月開設以来、月 2 回の開催と昼休み開放を実施し、多くの生徒が利用している。イベントは3回実施し、肉まん・おでん・豚汁を提供し、多くの生徒が来室した。ほっとする居場所として、また自然な相談の場として機能している。来年度も継続して活動をすすめていく。

10. 次回協議会の日程

次回は 2026 年 6 月 17 日（水）を予定。ただし授業時程変更に伴い再調整の可能性あり。

11. 閉会の挨拶

校長より、協議会での温かい意見に感謝し、引き続き生徒が安心して学べる環境づくりに努める旨が述べられ閉会した。